

活用事例紹介(1)

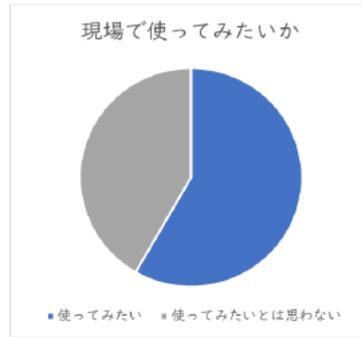
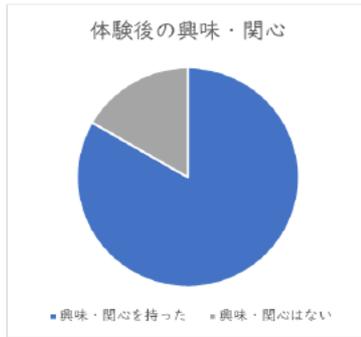
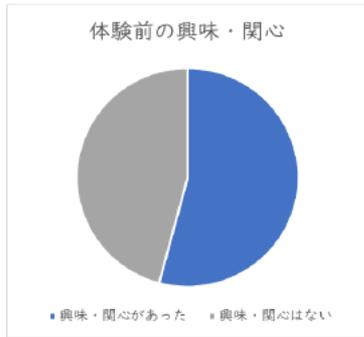
- 利用機器： Sony MESH
- 活用状況：①2021年度教員免許講習／②ゼミナール(大学2年生)活動／③大学オープンキャンパス／④プログラミングクラブ(仮称)活動準備資料／⑤授業「プログラミング演習Ⅱ」(大学3年生向け)
- 機器活用による効果・利点：
 - ①免許講習には現役の保育士・幼稚園教諭・小学校教諭28名が参加した。プログラミング教材に実際に触れる絶好の機会となった。
 - ②ゼミとして大学祭の動画コンテストに応募した。タイトルは「初めてのプログラミング」とし、グループで「小学生に楽しんでもらえる」機器を紹介するための動画作成として活用していった。
 - ③オープンキャンパス中に展示したことで、高校生(および保護者)が大学で学ぶ[IoT]機器として体感した。
 - ④コロナ禍終息後、クラブ活動して展開する予定の資料作成に学生自身の問題意識を持って、機器に接している。
 - ⑤本学の文系学生に「プログラミングは怖くない、むしろ、面白い。」を実感する教材として利用している。

活用事例紹介(2)

● 利用者および学生の感想、雰囲気等(写真を含む):

① 教員免許講習でのアンケート(24名回答)

「機器についてどう思いますか?」



④ プログラミングクラブ資料

・やりたいこと
部屋の温度が29℃以上になったら音声が流れるようにしたい!

・理由

テレビで部屋にいても熱中症になる確率は高く、エアコンをつけるように呼び掛けていたから。

・使うもの

○スマホ
○MASH(温度・湿度を感知する部品)

・結果

スマホから音が鳴るので気温が上がったらすぐに気づくことができ、快適に過ごしている。ただ、選択している範囲内の気温の変化には対応できないので、もう少し工夫がいると感じた。

・プログラム・設定



② 動画コンテスト

目次

- 1.MESH
- 2.Wedo (スパイロボットと月面)
- 3.Wedo (速度)
- 4.Spike
- 5.Osmo
- 6.ドローン



今回は人感ブロックを使って
猫の自動撮影に挑戦します



● 機器活用における課題・難点:

IoT機器であるため(の当面の宿命ではあるが)、駆使するためのネットワーク環境を整えていくこと等に対する前提知識が必要となる。その理解を持つての機器操作となるわけだが、現状は機器操作以前の作業時間確保に手間取っている。